



○小栗 恒雄 ○

◆市職員の不祥事撲滅について

〔問〕なぜ元職員による長期に渡り多数

回の着服行為が繰り返されたのか、背景と真相は究明できているのか。

〔答〕横領事件は22年当初から23年12月までに、六〇三万円を着服したもの

で、昨年12月12日に事件が発覚し、同15日には元職員を懲戒免職処分としております。2月8日に多治見警察署に逮捕、29日には起訴されています。背景には元職員の意識の低さと、現金取り扱い事務の管理不十分が最大の原因と考えております。

〔問〕私は、今回の事件の起因は、世間の常識は役所内の非常識。職員諸君の意識を変えなければ、また不祥事は繰り返すことになります。起因はここにあり市長の見解を求めます。

〔答〕（市長）起因というお話ですが、一番考えられるのは個人の資質だと思います。その人個人の問題で、全く統一的にしろということは、難しい部分もあり、いかに不正が起こりにくい環境をつくるかということが、私たちの立場だと考えております。

◆天下り人事の廃止について

〔問〕市の関連施設に職員OBを優先的に受け入れることは、天下りとの市民の声があります。市職員は現役中

も身分や収入は安定しているうえ、定年を迎えるも関連施設の上層部に優先的に迎え入れられ、市民は、羨ましさを通り過ぎ、怒りさえ覚えています。私は、土岐市政から天下り人事を廃止すべきと提案いたします。

〔答〕豊富な行政経験を有する職員を採用したいとの趣旨から、団体からの推薦依頼され、市からそれにに基づき職員を推薦しておるというのが実態で、今後も推薦依頼があり、また職員の希望があれば推薦をしたい。

〔問〕加藤市長も一緒に考えだとしたら歴代市長とあまり変わらず、やはり市職員上がりの市長さんかなあと受け取られます。天下り人事は職員の甘さに繋がり、不正を引き起こす土壤となる悪しき習慣だと思います。

〔答〕市長は廃止する考えはありますか。

〔答〕（市長）私は天下りじゃないと考えていません。退職金もありません。

〔問〕私は、天下りじやないと考えています。退職金もありません。給料もものすごく安くなります。市の経験を積んできた方がそこで要るという場合は、一般の方に無い知識が必要ですよというふうに、その部分もあり、いかに不正が起こりやすい環境をつくるかということが、薦めていきたいと考えています。

◆市道及び市有道路について

〔問〕市道の認識について。

〔答〕東日本大震災においても、救急救命活動や救急物資の搬送など、本当に大きな役割を果たし、その必要性、重要性が改めて認識させられた。

〔問〕市有道路及び団地開発道路の形状について、要綱・内規はあるのか。

〔答〕土地の所有者が土岐市であり、現況が一般交通用に供されており、土地の境界が現況に沿った形状で分筆されているもの。市有地と民地があ

り、市道として認定されていない道路で市有道路にも該当しないため私道となる。要綱等はないが、市道路線認定の手続きに関する要綱の中で要件がうたわれているが、将来的には、市有道路の整備についても計画的に行進め、側溝施設は重要性や緊急性等を検討しながら進めていきたい。

〔計算すれば約3600万円で出来る。〕

〔答〕急性期医療、高度な専門的医療を担う当院は、地域の多くの医療機関と連携が極めて重要であり、機能分化を進めるための制度であり、医療の質の向上と効率化を図るために、将来的には住民が使用する市道として整備するよう努力していきたい。

〔問〕市長が公約されました強いまちづくり、元気なまちづくり、優しいまちづくりのために早急に道路の整備を望みます。



○後藤 久男 ○

くくり、元気なまちづくり、優しいまちづくりのために早急に道路の整備を望みます。

〔答〕道路整備はやっぱりまちの根幹をなすものと考えている。土岐市は特に都市計画街路の整備もおくれているので、大きな道路から小さな道路まで、きちんと整備していきたい。

◆乳幼児医療費制度の助成について

〔問〕総合病院（病床200床以上）で受診をした場合、乳幼児等医療費助成者及び一般患者にも選定医療費1050円の支払いが生じるのか。

〔答〕他の病院から紹介状なしで初診した場合には、一般患者及び乳幼児・母子父子家庭福祉医療に該当者から徴収しているが、午後6時から午前8時または土日・祝日は徴収しない。

〔問〕初診時選定療養費を廃止にして、市長の公約である子育て支援を大切に徴収しているが、午後6時から午前8時または土日・祝日は徴収しない。

〔答〕急 性期医療、高度な専門的医療を担う当院は、地域の多くの医療機関

と連携が極めて重要であり、機能分化を進めるための制度であり、医療の質の向上と効率化を図るために、また、医師の負担軽減を図るためにも廃止は考えていない。当面は市の財政と周りの市町村とのバランスを考えながら図っていきたい。

◆企業誘致について  
 (問)市長に就任されば一年となりましたが、一年目の総括としてどうだったでしょうか。

(答)常々市長は民間が求めるスピード感にどのように対応するかが重要であると考えており、積極的に市長が情報収集に努めているという状況です。

◆プラズマ・リサーチパークC地区について今後どのような方針を考えているか。

(問)C地区については地域経済の活性化のため取得した経緯がありますが、なかなかうまくいっていないのが実情です。

(答)今後はイベントの利用に限らず企業立地など検討していきたいと思します。

◆常々市長は民間が求めるスピード感にどのように対応するかが重要であると考えており、積極的に市長が情報収集に努めているという状況です。



○山田 正和 ○

問 成立に至らない理由というのは何でしょうか。

(答)最大の理由といたしましては、どういう企業を誘致すべきかという方針が不明確であったことです。また決定方法も含めましてまだ整理ができない部分があった。

●魅力ある土地ですので、市長を中心として積極的に誘致していただきてほしいと思います。

特にE地区につきましては温泉を掘削して九年目となります。土岐口区民が非常に熱望しておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

◆災害対策について  
 (問)昨年九月の災害では、ある市では子どもがふたの無い側溝にすぐわれ亡くなられたという事故も発生しました。土岐市内にも側溝にふたの無い箇所が多く見受けられるが何か基準はありますでしょうか。

(答)市の方によると、市内には危険な場所、町内会等からの要望があつた場合には設置・支給させていただいている。市道以外の道路である市有道路や私道においては材料支給という事で対応させていただいている。

●まちづくりの原点は、道路の整備が最重要と考えています。市民の安心・安全のために市有道路の整備を早急にお願いいたします。



○布施 素子 ○

らなければならないことなど色々あるが、長いスパンの施策としてこの定住促進事業は重要であり、市条例化して続けるようにしたらと提案したが、当面は3年間の目標とのことです。

◆土岐市駅前広場整備基本計画策定について

問 加藤市長が整備しようとする駅前広場の範囲は、今迄何回も何度も定をしながら実現できなかった。これが最後と思うがどうか。

(答)JRが民営化されてから流れが変わり、駅前広場は行政がやってほしいというJRからの要請、県からも底地は県であるが、整備は市でといふ話があり、以来市と県とJR三者が協定で決っており、新土岐津線が開通すると今度は駅前広場の整備となる。

●あくまでも道路事業の中で、どういう駅前広場を整備していくか、基本的な整備の考え方をまとめていくたいと思う。

●多くの市民の永年の夢と希望であり期待したい。

特に中央通り、中央小橋迄、土曜朝市をやっている辺りまでの整備をいう人が多いことや、駅前とは駅南だけではなく駅北もそうであると要求したが、当面は道路事業の範囲で、あくまで駅南の整備策定のようだ。

必ず実現出来るよう願うのみだ。